

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年2月26日(2015.2.26)

【公開番号】特開2012-214744(P2012-214744A)

【公開日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-046

【出願番号】特願2012-70474(P2012-70474)

【国際特許分類】

C 09 D 133/24 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

C 09 D 157/00 (2006.01)

C 09 D 5/00 (2006.01)

D 21 H 19/20 (2006.01)

【F I】

C 09 D 133/24

C 09 D 7/12

C 09 D 157/00

C 09 D 5/00 D

D 21 H 19/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

剥離基材上に塗布する塗り剤であって、

塗り剤が、重合される原料モノマーとして(メタ)アクリルアミドを含有する水溶性樹脂(a)と、有機粒子(b)とを含むアクリル系水分散体であり、

樹脂(a)の重量平均分子量が20万未満である

ことを特徴とする剥離基材用下塗り剤。

【請求項2】

前記記載の有機粒子(b)が水溶性樹脂(a)の存在下で1種以上のビニル単量体を重合して得られる粒子であることを特徴とする請求項1に記載の剥離基材用下塗り剤。

【請求項3】

前記記載の水溶性樹脂(a)が1種以上のビニル単量体を重合して得られる有機粒子(b)の存在下で重合して得られる樹脂であることを特徴とする請求項1に記載の剥離基材用下塗り剤。

【請求項4】

前記記載の水溶性樹脂(a)と有機粒子(b)とを混合して得られることを特徴とする請求項1に記載の剥離基材用下塗り剤。

【請求項5】

水溶性樹脂(a)の原料モノマー固形分100重量部中、(メタ)アクリルアミドの含有割合が10~100重量%であることを特徴とする請求項1~4の何れかに記載の剥離基材用下塗り剤。

【請求項6】

アクリル系水分散体の固形分中、水溶性樹脂（a）と有機粒子（b）との重量比率が（a）10～90重量%、（b）90～10重量%であることを特徴とする請求項1～5の何れかに記載の剥離基材用下塗り剤。